

1. 案件の概要

(1) 案件名

(和文) 平成29年度課題別研修

「仏語圏アフリカ 理科分野における教授法改善指導者養成」

(英文) Leadership Training on Improvement of Teaching Method for Science
Education for Francophone Countries in Africa

(2) 研修期間 平成30年1月22日～平成30年2月16日

(3) 研修員数 15人

(4) 国立大学法人 鳴門教育大学 研修コースリーダー 小澤 大成

2. 案件目標（アウトカム）と単元目標（アウトプット）の達成度

(1) 案件目標（アウトカム）

案件目標：

理科分野の教員研修に関して、研修員の計画立案・実施・評価能力が向上し、研修員が所属する組織において、理科分野の授業改善に向けた行動計画が策定または強化される。

指標：研修員が作成した模擬授業案、エンドラインサーベイにおいて実施する「ある理科授業への助言」、研修員が本邦研修終了時に提出する改善計画案に基づき評価する。

(2) 単元目標（アウトプット）

単元目標①：各国、所属組織、個人の各段階において教員研修に係る課題を整理できる。

指標：研修員が研修中に作成した改善計画案の「課題」とその「問題点」に関する記述が4段階評価がB（やや優れている）以上。

単元目標②：理科の授業実践の意義・ポイントを説明でき、理科の授業を立案・実施することができる

指標：研修員が研修中に作成した模擬授業案の中によい理科授業の観点が含まれているか、4段階評価でB（やや優れている）以上。

単元目標③：理科の授業を観察・分析し、改善案を提示できる。

指標：研修員に対しエンドラインサーベイで実施した「ある理科授業への助言」に関し、4段階評価でB（やや優れている）以上。

単元目標④：理科分野の教授法改善にかかる研修手法を説明できる。

指標：研修員が作成した改善計画案中の研修に関する記述をチェックシートを用いて評価し、その4段階評価がB（やや優れている）以上。

単元目標⑤：理科分野の教授法改善にかかる現職教員研修の具体的な改善計画及び普及案が作成される。

指標：研修員が作成した改善計画案の記述をチェックシートを用いて評価し、その4段階評価がB（やや優れている）以上。